

ラフマニノフ

ピアノ協奏曲 第3番 二短調 op.30

&

サン＝サーンス

交響曲 第3番 ハ短調 「オルガン付き」 op.78

第3番

憂愁と情熱、美しき2つの第3番



2019

3.21 (木・祝) 2:00PM開演 (1:00PM 開場) ザ・シンフォニーホール

主催：公益財団法人日本センチュリー交響楽団 ザ・シンフォニーホール

S席 5,940円 A席 4,860円 B席 3,780円(税込)

発売日 2018年9月23日(日)10:00～ センチュリーチケットサービス 一般発売は9月25日(火) [Sinfonia会員・センチュリー会員先行 9月20日(木)10:00～]

ご予約・お問合せ ■センチュリーチケットサービス 06-6868-0591 (平日10:00～18:00)

プレイガイド

■ザ・シンフォニー チケットセンター06-6453-2333 (10:00～18:00 火曜定休) <http://www.symphonyhall.jp> ■チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:123-827]

■e+(イープラス) <http://eplus.jp> (パソコン・携帯) ■ローソンチケット 0570-084-005 [Lコード:56452] 0570-000-407 (オペレーター対応 10:00～20:00)

※未就学児のご入場は御遠慮いただいております。※やむを得ない事情により、出演者、曲目等が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

第3番

シリーズ第四回は、ラフマニノフとサン=サーンスの第3番という名曲を今注目のソリスト二人で聞けるまたとない好企画だ。憂愁漂うラフマニノフのピアノ協奏曲第3番には、進境著しい上原彩子が出演する。卓抜とした技術とスケールの大きい演奏が持ち味の上原は、ラフマニノフを得意としているだけに本当に楽しみだ。サン=サーンスの交響曲第3番オルガン付きはその壮麗な響きで人気の名作だが、今回は2016年バツハ国際コンクールオルガン部門で日本人として初めて優勝した富田一樹が共演する。すぐれた技術と格調高い表現力が欧州でも絶賛された富田。豊穡なオルガンの調べが管弦楽と融合し、オーケストラ音楽の新たな魅力を体感できる演奏会となる。

文 伊藤制子

飯森 範親 [指揮] Norichika Iimori (Conductor)

桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリン、ミュンヘンで研鑽を積み、これまでにフランクフルト放送響、ケルン放送響、チェコ・フィル、モスクワ放送響等に客演。01年、ドイツ・ヴェルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団音楽総監督 (GMD) に着任し、ベートーヴェンの交響曲全集を録音するとともに、日本ツアーを成功に導いた。

国内では94年以来、東京交響楽団と密接な関係を続け、現在は正指揮者。03年、NHK交響楽団定期演奏会にマーラーの交響曲第1番でデビュー。06年度 芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞、07年より山形交響楽団音楽監督に就任し、そのエネルギッシュな活動は高い評価を受けている。

2014年シーズンから日本センチュリー交響楽団首席指揮者に就任。

オフィシャル・ホームページ <http://iimori-norichika.com/>



上原 彩子 [ピアノ] Ayako Uehara, Piano

第12回チャイコフスキー国際コンクール ピアノ部門において、女性としてまた、日本人として史上初めての第一位を獲得。

第18回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞受賞。

これまでに国内外での演奏活動を行ない、ヤノフスキ、ノセダ、ルイジ、ラザレフ、ブラビンス、ペトレニコ、小澤征爾、小林研一郎、飯森範親、各氏等の指揮のもと、国内外のオーケストラのソリストとしての共演も多い。

2004年12月にはデュトワ指揮NHK交響楽団と共演し、2004年度ベスト・ソリストに選ばれた。CDはEMIクラシックから3枚がワールドワイドで発売された他、2014年にはキングレコードに移籍し、「上原彩子のくるみ割り人形」「ラフマニノフ 13の前奏曲」がリリースされている。



富田 一樹 [パイプオルガン] Kazuki Tomita, Organ

大阪音楽大学オルガン専攻を、最優秀賞を得て首席で卒業。同大学音楽専攻科オルガン専攻を修了。オルガンを土橋薫、ピアノを大竹道哉の各氏に師事。ドイツ・リュウベック音楽大学大学院オルガン科修士課程を最高得点で修了。オルガンをアルフィート・ガスト(聖ヤコビ教会オルガニスト)、古楽をハンス・ユルゲン・シュノールの各氏に師事。

2016年7月、ドイツ・ライプツィヒ第20回バツハ国際コンクールのオルガン部門にて日本人初となる第一位と聴衆賞を受賞。「摂津市教育文化功労賞」(2016年8月)、平成29年度「咲くやこの花賞(音楽部門)」(2017年12月)、「音楽クリティック賞(奨励賞)」(2018年1月)を受賞。NHK・FMラジオ「リサイタル・ノヴァ」(2016年11月)、MBSドキュメンタリー番組「情熱大陸」(2016年12月)に出演。

バロック音楽を得意とし、国内外で数多くの演奏会に出演。音楽系YouTuberとしてパイプオルガンを紹介する活動も行う。(一社)日本オルガニスト協会会員。



日本センチュリー交響楽団 [管弦楽] Japan Century Symphony Orchestra

日本センチュリー交響楽団は1989年に活動を開始し、現在は50名のメンバーが在籍。飯森範親が首席指揮者を務め、多彩な活動を行っている。ザ・シンフォニーホールでのシンフォニー定期演奏会、ハイドンの交響曲全曲演奏・録音プロジェクト「ハイドンマラソン」(いずみ定期演奏会)、豊中市立文化芸術センターでの名曲シリーズを展開する。オーケストラ体感コンサート「タッチ・ジ・オーケストラ」をはじめ教育プログラムや地域連携事業にも力を入れている。

オフィシャル・ホームページ <http://www.century-orchestra.jp/>

